

一般演題の投稿前に、必ずご確認ください。

(重要) 抄録登録時の言語について

本年は海外の招待講演者、参加者の方々にも積極的に発表でのファシリテーターをお願いしようと考えています。その面でも、英語を推奨いたします。

以下、抄録の登録言語、ならびに発表言語についてのお願いを記載しています。良くお読みになられて、該当する言語での抄録のご登録・ご発表をお願いいたします。

抄録の登録言語と、発表の言語は必ずしも同一ではありません。抄録が英語でも発表言語は日本語を選択されても構いません。

英語での抄録登録の場合は、お名前ご所属等の演者情報を日・英併記でご登録いただきますが、抄録本文は英語のみで構いません。下記の言語設定に沿わない場合は、抄録の受理ができない場合がありますので、間違いの無いようにご登録をお願いいたします。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

抄録の登録言語について

◆サブカテゴリーとして【基礎】を選択した場合

発表言語に関わらず、抄録は「英語」でのご登録をお願いいたします。

◆サブカテゴリーとして【臨床】を選択した場合

カテゴリーごとに次の言語指定を設けています（下表を参照）。下記の指定に従って、ご登録ください。

抄録登録言語は必ずしも発表言語と同一ではありません。

領域番号	領域名	言語指定
1	脳血管障害診断	英語もしくは日本語
2	脳血管障害病態	英語もしくは日本語
3	脳血管障害治療（血管内）	英語もしくは日本語
4	脳血管障害治療（内科）	英語もしくは日本語
5	認知症臨床	英語もしくは日本語
6	認知症診断	英語もしくは日本語
7	認知症治療	英語もしくは日本語
8	認知症病態	英語
9	シヌクレイノパチー・パーキンソン病診断	英語もしくは日本語
10	シヌクレイノパチー・パーキンソン病治療	英語もしくは日本語
11	シヌクレイノパチー・パーキンソン病病態	英語
12	シヌクレイノパチー・パーキンソン病臨床	英語もしくは日本語
13	運動ニューロン疾患臨床	英語もしくは日本語

14	運動ニューロン疾患病態	英語
15	小脳失調症・痙性対麻痺	英語もしくは日本語
16	中枢性自己免疫性疾患	英語もしくは日本語
17	その他の神経免疫疾患	英語もしくは日本語
18	神経筋接合部疾患	英語もしくは日本語
19	筋疾患	英語もしくは日本語
20	末梢神経障害	英語もしくは日本語
21	代謝性疾患	英語もしくは日本語
22	神経感染症・プリオン	英語もしくは日本語
23	てんかん	英語もしくは日本語
24	頭痛・睡眠障害	英語もしくは日本語
25	高次脳機能障害	英語もしくは日本語
26	臨床神経生理学	英語もしくは日本語
27	神経リハビリ・医用工学	英語もしくは日本語
28	遺伝子治療	英語
29	神経遺伝学	英語
30	神経再生・臓器再生	英語
31	神経病理学	英語
32	神経科学	英語
33	神経放射線・機能画像	英語もしくは日本語
34	難病医療	日本語もしくは英語
35	神経倫理	日本語もしくは英語
36	教育・女性・キャリアー	日本語もしくは英語

発表言語について

◆口演発表を希望される場合

- 発表言語選択において、抄録登録言語が英語の場合、「英語でも可」/「日本語」のいずれをお選びいただいても構いません。抄録登録言語が日本語の場合は原則日本語となります。
- 口演発表の選考時に、同程度の内容であれば「英語でも可」を選択した演題を優先いたします。
- 一般演題で応募された先生の中から、海外からの演者との企画シンポジウムに採択させていただく場合がございます。その場合、「日本語」での発表をご選択された場合でも、学術委員会から英語でのご発表形式をお願いすることがございますので、ご了承ください。
- 口演スライドの言語は、発表希望言語ではなく抄録登録言語と同じ言語での作成をお願いいたします。

◆ポスター発表を希望される場合

- 発表言語選択において、抄録登録言語が英語の場合、「英語でも可」/「日本語」のいずれをお選びいただいても構いません。抄録登録言語が日本語の場合は原則日本語となります。
- ポスターの口頭発表の言語は、発表言語選択において選択された言語をお願いいたします。英語でも可の場合は、英語もしくは日本語でのご発表をお願いすることになります。
- ポスターの印刷言語は、発表希望言語ではなく抄録登録言語と同じ言語での作成をお願いいたします。
- ポスター前での Discussion の時間を設けます。英語で登録された方は、この時間帯に海外の方と十分に英語でご交流ください。

※**学術大会最優秀演題賞への応募を希望する場合は「英語」での抄録のご登録、発表言語として「英語でも可」の選択を推奨いたします。**